



世界に誇れる横浜の水

お元気ですか！

リオ五輪では、日本人選手の活躍に感動した方も多いと思います。一生懸命に頑張っている日本人選手はみんな輝いていました。いよいよ次の五輪は東京です。閉会式では、安倍首相がマリオ姿で登場し、東京の街並みや富士山など日本の素晴らしさを世界へアピールしました。2020年には、世界中から東京、日本へ多くの方をお迎えすることになります。横浜市も世界に向けてアピールするチャンスです。閉会式をテレビで観ながら、ふと日本の素晴らしさは何だろうかと考えました。皇室を中心とした歴史、伝統、文化、自然だと思いますが、治安、食、医療も世界に誇るべき日本の魅力です。そして、あまりにも身近で当たり前に行っていることでも世界に誇れることがあると思いました。それは、「水道水を安全に飲めること」です。ちなみに水道水を安全に飲むことができる国は、世界でわずか15カ国。アジアではアラブ首長国連邦と日本だけです。少し前置きが長くなりましたが、日本の中でも横浜は近代水道発祥の地でもありますので、このことをもっと都市のイメージとしてアピールしても良いのではないかと思います。

■ 道志村との深い関係

今年は山梨県から道志村の水源林を購入して100年の記念すべき年です。7月には道志村と横浜市で式典を行いました。ちなみに1916年当時2780haの山林を約13万円で購入しました。現在1兆5千億円の一般会計が当時は250万円の時代ですから、思い切った決断だったと思います。横浜市は水源管理所を設置し、職員と多くのボランティアの方のご協力により間伐など水源林の維持管理に努めています。先日事務所の学生たちと道志村へ毎年恒例のキャンプに行き、間伐の体験をさせていただきました。山の中で作業することは楽しいのですが、危険が伴うこともあり、水源林の維持管理のためにご尽力いただいている方々に改めて感謝したいと思いました。

■ 横浜市水道事業の取り組み

横浜市では、古くなった水道管から、年間約200億円かけて約110kmの管路を更新しています。新しい水道管は材質・構造的に耐震化されたもので、東日本大震災でも被害が無く、海外からも注目されています。ただ、市内の水道管は全長9100kmあるため、災害時に拠点となる施設、病院などへの管路を優先して、着実に耐震化に取り組んでいます。人口減少社会の到来により水道料金の収入が減っていますが、安全で良質な水が安定的に供給できるように事業展開しています。

■ 海外へ広がる横浜の水道技術

近代水道発祥からの横浜市の高い水道技術は、昭和48年のアフガニスタンへの職員派遣がスタートとなり、アジア・アフリカを中心とした職員派遣や研修員の受け入れを43年間に渡り実施しています（職員派遣31カ国324人、研修員受入130カ国3226人）。JICAや市が100%出資して設立した横浜ウォーター株式会社や横浜水ビジネス協議会※とも連携しながら横浜水道は世界に貢献しています。

先月号では横浜市の観光について書かせていただきましたが、インバウンドは身近なところにヒントが隠されているように思います。日本の国が観光立国として発展していくためには、日本人自らが日本の素晴らしさを再認識することが大事のように思います。安全な国、衛生的で美しい国、人々が列を作って静かに並んで待つ国、礼儀正しさ、尊敬、謙譲、義理、人情などなど先人達から受け継いだ日本の素晴らしさを今こそ世界へ向けてアピールする時なのかもしれません。近代水道発祥の地の横浜の水も日本の魅力の一つと言いたいですね。

風が秋らしくなってきました。皆様お元気にお過ごしください！

横浜市議員 古川直季

※脚注1「横浜水ビジネス協議会」:

上下水道分野を中心とする水ビジネス市場が新興国などで急速に拡大している中で、市内133の企業・団体等と横浜市が連携し、平成23年11月10日に設立されました。協議会は新興国などにおける水環境に関する問題解決や、市内企業等の海外水ビジネス展開を公民連携して支援していきます。

古川なおき プロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了/横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書
平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少) /自民党横浜市議員団所属

平成28年 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会/孤立を防ぐ地域づくり特別委員会副委員長
横浜市会FCキャプテン/希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会理事/旭区サッカー協会顧問
旭区スポーツダンス協会顧問/旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問/旭区剣道連盟顧問





水源管理は森林管理！

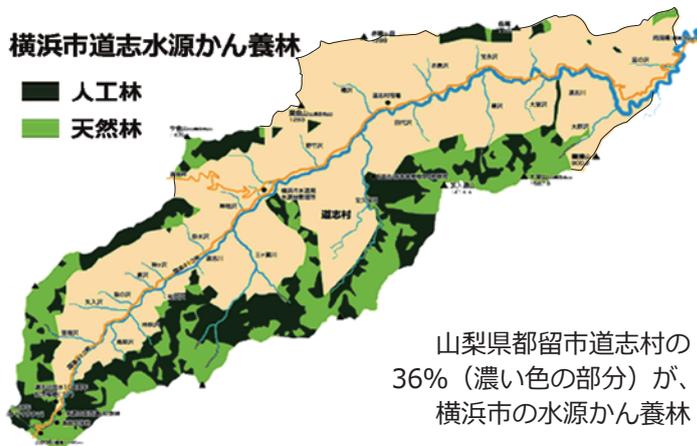
今年、道志水源林 100 周年記念。
道志村の横浜市水道局水源林管理所を訪れ、
横浜水源について学んできました！

「前向き！前向き！やってみよ！」
古川なおき事務所が取り組む様々な
【前向きプロジェクト】をご紹介します。
ご興味のある方は、是非ご参加下さい！

なぜ、横浜市の水源地が山梨県にあるの？

横浜市の水源地は相模湖をはじめ 5ヶ所ありますが、そのうちの1つは山梨県の道志村に存在し、広大な「水源かん養林」を横浜市水道局が管理しています。「水源かん養林」とは、水源を守ることを目的として保全・管理している森林のことをいいます。なぜ、山梨県に水源があるかを知るためには、歴史を振り返る必要があります。

黒船の到来によって大きく変わった横浜の地は、1859（安政 6）年に港が開かれてから急激に人口が増えましたが、海や沼を埋め立てたところが多く、井戸を掘っても塩からい水ばかりで飲み水が足りませんでした。そこで、イギリス人技師のヘンリー・スペンサー・パーマーさんに横浜水道の計画を依頼し、2年6か月かけて工事を行い、1887（明治 20）年に、近代水道※が日本で初めて完成しました。



山梨県都留市道志村の 36%（濃い色の部分）が、横浜市の水源地かん養林

その横浜が“市”になったのは、1889（明治 20）年。当時の人口は 12 万人ほどでしたが、人がどんどん増えるため、1897（明治 30）年に道志川から取水を開始しました。その後 1916（大正 5）年に山梨県から道志村内の山林約 2,780ha を購入し、水源林の管理を開始しました。

（出典：横浜市水道局ホームページ）

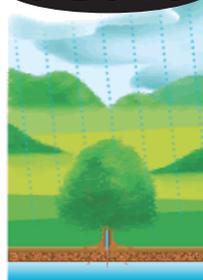
※近代水道：ろ過できれいにした水を鉄の水道管で圧力をかけて蛇口へ送る、現在、使われている水道。

下草が茂り、広葉樹と針葉樹が共存する “天然林” が理想。 “人工林” を変える！

天然林は、その土地本来の樹木が自然更新で成り立っているため、自然の再生力によって森は維持されます。様々な樹齢の広葉樹・針葉樹が混在し下草も茂るため、根が入り組むことで土壌が安定しています。一方、人工林とは木材生産を目的として針葉樹が植林されてできた森林で、木々が密集しているために間伐が行われないと太陽光や雨水が地表まで届かず下草がはえません。その結果、土壌の保水力が低下して土砂流出をおこしやすくなり、木々の倒壊や土砂崩れなどの問題が発生しやすくなります。同時に、水源かん養機能も低下するため、下草刈り、枝打ち、間伐等、森林の保護育成作業が水質保全のためにも大切です。水源かん養林の育成は、限りある水資源を最大限かつ効率的に活用する上で、最も自然の摂理に従った方法なのです。

【水源かん養林の 3つの働き】

水を貯える



樹木の葉や枝が堆積し、厚い腐食層を形成し吸水性に富むことで、たくさんの雨水を貯えられます。

水を浄化する



雨水が土壌にたっぷり吸収され、ゆっくり地中に浸透することで、良質な地下水に浄化されます。

洪水を緩和する



雨水を貯える機能があることで、雨水の河川への流出量を調整し洪水をふせぐことができます。

間伐材の利用を！

古川なおきも議会で取り上げましたが、横浜市では、平成 22 年に制定された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づいて方針を策定し、木材利用を促進しています。二酸化炭素排出の抑制及び建築物等における炭素の蓄積の増大を通じた地球温暖化の防止や、再生可能な資源を活用した循環型社会の形成を目指し、健康的で温もりのある快適な生活空間を創造したいと考えています。【古川事務所・前プロ】では、水源かん養林の間伐材等で内装がつけられた道志村中学校も訪問させて頂きました。心安らぐ子ども達の環境作りに水源林の木材が貢献していることをとても嬉しく感じました。



お気軽にご連絡ください。

FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000

E-Mail: jm@furukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています！

古川なおき政務調査事務所

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘 199-1
希望ヶ丘駅より徒歩6分

